

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 29 年度第 1 回佐渡市図書館協議会
開催日時	平成 29 年 10 月 24 日 (火) 13 時 30 分開会 16 時 20 分閉会
場所	佐渡市立中央図書館 2 階 講座室
議題	(1) 平成 28 年度佐渡市図書館・図書室事業実績について (2) 平成 29 年度佐渡市図書館・図書室事業計画及び実施状況について (3) 平成 28 年度佐渡市子ども読書活動推進計画評価について (4) 佐渡市図書館運営方針及び佐渡市図書館整備計画について (5) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	佐渡市図書館協議会 委 員 会 長 木村 和夫 (学識経験者) 副会長 安藤 晴代 (家庭教育) 委 員 伊貝 秀一 (学識経験者) 委 員 近藤 あゆみ (家庭教育) 委 員 永井 利子 (学識経験者) 委 員 東 チヨ子 (家庭教育) 委 員 佃 邦子 (学識経験者) 委 員 小松 美知乃 (社会教育) 委 員 深澤 隆司 (学校関係) 委 員 渡部 泰治 (学校関係) 事務局 社会教育課 教育長 渡邊 尚人 課 長 越前 範行 館 長 濱崎 賢一 主 任 伊藤 優美
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0 人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
濱崎館長	開会 平成 29 年度第 1 回佐渡市図書館協議会の開会
渡邊教育長	1 開会あいさつ 渡邊教育長よりあいさつ
渡邊教育長	2 委嘱状交付 教育長より木村さんへ代表交付
濱崎館長	3 自己紹介 事務局員及び委員の自己紹介
濱崎館長	4 会長・副会長選出について (立候補無し、推薦あり) (前会長ということで、木村委員のご指名があり拍手多数で承認)
濱崎館長	副会長の選出について (立候補無し、推薦あり)
伊貝委員	協議会の委員について、女性が過半数を占めているので、会長・副会長どちらかが女性が好ましいのではないかと。
東委員	新規の女性の方がいいのではないかと。
永井委員	新規だと様子がわからないので、継続の方がやっていただいた方が上手くすすめられるのではないかと。
佃委員	男女関係無く、いろいろな情報を持っている伊貝委員さんをお願いしたい。
伊貝委員	それこそ女性が輝く社会というキャッチフレーズもありますが、佐渡市の協議会のなかで女性が半分以上を占めているものはなかなか少ないと思う。 そういった中で今回の協議会は、10 人のうち 6 人が女性で、やはりそれを、表に発信していった方がいいのではないかと。 また、教育委員会らしくてよろしいのではないかと。
渡部委員	女性からと言うのは、私は賛成です。やはり男女、1・1のほうがバランス的にも良いと思います。
渡邊教育長	継続された安藤委員さん、東委員さん、どちらかがいいのでしょうか。
木村会長	私は、現在健康な状態であり、病院にかかってもいないし、車の運転等も慎重に行っています。ですから、「会長に事故ある時は副会長が」ということで副会長さんにご迷惑をおかけすることはないと思います。 では、前回の経験があり、若い感覚ということで、安藤委員さんお願いします。 (拍手多数で承認)

木村会長 安藤副会長	会長・副会長就任あいさつ 木村会長、安藤副会長あいさつ
濱崎館長	佐渡市図書館条例施行規則第 29 条の第 2 項により、会長は図書館協議会を代表して、会議の議長となるということです。以後の議事の進行等を会長に委ねることにします。
木村会長	本日、傍聴を希望されている方は現時点ではいませんが、この件について、これまでの状況について事務局は説明をお願いします。
濱崎館長	委員に配布してある資料に則って、昨年まで公開を認めていました。 基本的には傍聴であり、撮影等は一切無しということになると思われま るので、その方向で行きたいと考えます。 その内容については、次回の協議会で提示します。 (会長から委員に意見を問われたが、特に異議がなく本年度も公開を認める ことになった。)
濱崎館長	図書館協議会の委員の立場について説明を行う。 図書館法では、諮問機関であり、図書館長に意見を述べるということになっ ています。 また、決定の機関ではないので、図書館長に対して意見を述べる機関であり、 各地区からの意見等を述べながら、また内容を詰めながら、この協議会を進 めていきたいと考えています。
渡邊教育長	この協議会でいろんな意見を広く聞きたいというのが趣旨です。 図書館が提供しているサービス全般について、意見を述べることができる機 関であり、この協議会が決定機関ではないということで位置付けをしています。
伊貝委員	この図書館法だけ読めば、図書館長の公的な諮問機関が、この協議会の委 員さんの役割だと思います。 ただ、これしか書いてないので、しかも図書館の運営についてという言葉 をどこまでの範囲で考えるかという、実はそれぞれの団体の考え方ひとつな んだらうと思います。 例えば今後出てくるであろう、いろんな図書館のサービスの関係、あるい は図書館整備の関係も含めてですが、そういった諸々の図書館政策そのもの について、自由な意見というものを、「図書館運営に関し」という中で考えて、 意見を自由に出してよいものか。
渡邊教育長	図書館長というのは、教育委員会のなかで社会教育課そして、教育委員会 一番上は教育長となるわけですが、そういう組織でありますので我々にとっ て館長は、諮問するということは教育長の了解を得てやるということになり ます。 先ほど言いました運営に関しては、この後説明がありますが、いろいろな 予算から何から全てこの資料に入っています。 この中で、昨年の反省、今年度の事業、どういうふうにしていこうかとい

	<p>う、今回は中途半端ですが、この中からご意見をいただくというのが、一番具体的な方法かなと思います。</p> <p>そして、また自由なという範囲が少しわかりませんが、どの程度自由なのか我々が答えられることであるのか、答えられないことなのかという範囲もございますので、言い切れないところもありますが、図書館協議会委員についてはこの範囲内でご審議をいただきたいと思います。</p> <p>新しいことについては、諮問という形で出たり、または、「その他ありませんか。」という方向になりますので、その時はご意見いただきたいと思います。</p>
伊貝委員	<p>相当、慎重に答えられてると思います。</p> <p>私が言っているのは、この図書館法の 14 条の 2 項のところで、「図書館の運営に関し館長に対して意見を述べる機関とする。」ということですから、館長に対して図書館の運営に関して意見を述べる機関だと、はっきり読めます。</p> <p>あくまでもそこからはもちろん出られないので、自由にとというのは、あくまでも図書館運営の範囲内での自由だということですので、むやみやたらなことを言う前提で聞いているのではありません。</p>
木村会長	<p>これから 2 年間このメンバーで話し合いを行なっていきます。</p> <p>特に今日、議題を読んで説明いただくわけですが、図書館整備計画などにつきましては、本当に市民の非常に関心の高い内容になっています。</p> <p>現実にあの年は傍聴者も多く、また教育委員会が主催する説明会でも多くの市民が来られて、図書館に対する思いを率直に感じています。</p> <p>そんなことを考えると、本当にしっかり私達は話を進めていかなければいけないと感じています。</p> <p>そういう時どういう立場に立って話せばいいのか、どこまでの枠があるのか、本当に心配な部分もありますが、その時お互いに話し合う中で、「そこはどうか。」いうところがあったら、お互いに出し合って、枠をある程度絞っていくところは絞って進めていくことも必要だと思います。</p> <p>そんな形でこれから臨んでいきませんか。</p>
伊藤主任	<p>(1) 平成 28 年度佐渡市図書館・図書室事業実績について報告</p> <p>○平成 28 年度の佐渡市の図書館について実績報告</p> <p>平成 28 年度は非常に今までになく貸し出しが伸びた年であること。</p> <p>平成 28 年度の貸し出し冊数は 21 万 5 千 739 冊は、個人の利用者、保育園や小学校、福祉施設への貸し出しを含むと、25 万冊の本を貸し出しをしている。</p> <p>25 万冊を突破したのは初めて、かなり多くの本が借りられたという 1 年間だったと認識。</p> <p>平成 29 年度から、5 室それぞれに臨時職員 1 名配置、土曜日、日曜日を閉館し水曜日、木曜日どちらかを休館日とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度の状況について <p>平成 28 年度末のそれぞれの図書館・図書室の蔵書の冊数と、その児童書、</p>

	<p>郷土資料の内訳説明</p> <p>相互貸借の説明、他の図書館から、相互貸借をして借り受ける冊数というのは増えてきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度の移動図書館の利用状況について説明 <p>平成 28 年度からは 4 月から 2 月まで、移動図書館が運行している 4 地区、いずれも同じように月 1 回ずつ運行するというように変更</p> <p>移動図書館を運行することで、図書館や図書室、書店が無い地域の小学校や保育園に対しても、本の貸し出しなどを行うことができるので、遠方の地域についての貸し出しは一定の成果を果たしている。</p> 平成 28 年度中の各図書館・図書室の来館者数の説明 <p>平成 28 年度は非常に貸し出しの多い年だったという事を先ほど申し上げましたが、同様に来館者数も増えて来ている。貸し出しが伸びる、来館者が伸びるとそれだけでなく、全体的な図書館の利用というのが増えてきている。</p>
木村会長	<p>それでは、数字とかグラフで実態が示されていますが、数字が多いもので少し分かりにくいとか、こういうことがあるからこうなんですとか、ありましたらお願いします。</p>
伊貝委員	<p>見たばかりですが、平成 28 年度の貸し出しが確かに伸びている。</p> <p>分析が非常に大事だと思いますが、なぜ伸びているかということ、一言でいうと聞きたいが、先ほどどこかに貸し出ししたりしていると。</p> <p>あと、2 ページの表を見ていると貸し出し冊数は確かに伸びています。</p> <p>その理由を教えてください。</p> <p>ただ一方で年々人口が減っていく、トータル人口が減っていく中で、この貸し出し人数というのは平成 27 年度と平成 28 年度を比較すると、やはり特に室の方では若干落ちている、館の方では増えているというのが見えます。</p> <p>特に室の中でも、羽茂が落ちているのは、何か理由があるのでしょうか。</p> <p>一番下に分かりやすくまとめてくれる指標がありますが、E の貸し出し冊数は 21 万冊ということになっていますが、これが伸びているんだろうと思います。</p> <p>ただその上の、実利用人数、あるいは F の一人当たりの貸し出し冊数が前年比較でどうなのかなあというあたりが見えないので、そのあたり教えてください。</p>
伊藤主任	<p>まず、「貸し出し冊数が伸びているその理由はなんですか」というところですが、分析の方が充分でなくて非常に申し訳ないです。</p>
伊貝委員	<p>必ず思い当たることがあるはず。</p>
伊藤主任	<p>ありますね。正直なところ</p>
木村会長	<p>閉校の影響ではないか。</p>
伊藤主任	<p>それは平成 29 年度から変わったので、平成 27 年度から平成 28 年度に増えているところについては、窓口にいる正直な感想、中央図書館のことだけで</p>

	<p>恐縮ですが、非常に親子連れが増えています。</p> <p>あと、大人は貸出数最大 10 冊まで借りていく方は、そんなにいないんですが、子どもは、最大 10 冊まで借りていきます。</p> <p>そのようなりピーターで親子連れというのが、この土日特に増えてきたという印象はあります。</p> <p>また、他の図書館にも土日利用者が増えてきていることから、聞き取りしたところ、やはり親子連れが増えてきた気がするというような回答をもらうところもあります。</p> <p>もしかしたらそのあたりが、貸し出し人数は減ってきていても、冊数が増えているというところに関係があるのかもしれないと思っています。</p> <p>分析不足で申し訳ございません。</p>
伊貝委員	羽茂は分かりますか。
伊藤主任	羽茂は正直増えたり減ったり、毎年増える年もあれば、減る年もあります。
伊貝委員	特に何かがあったというわけでは。
伊藤主任	特に無いです。
木村会長	工事はいつやったんですか。
伊藤主任	工事は3月です。
伊貝委員	3月だけ。
伊藤主任	<p>はい。羽茂の図書室ですが平成 28 年度の 3 月、今年の 3 月に少し拡張するための工事を行ないました。</p> <p>その間休館はしないで、少し端に片付けるような形で、ちょっと利用を半分制限をする形で開館はしていました。</p> <p>拡張工事は 3～4 日程度のため、多少の影響があるかもしれませんが、そんなに減る原因ではないと思います。</p>
伊貝委員	<p>貸し出しの人数に比べて、冊数が増えているので、利用する人は今まで以上に借りてるとい事になりますが、それも通常の範囲内と考えますか。</p> <p>今の感想でいいですが、特に取り立ててこれはということがなければ。</p>
伊藤主任	<p>羽茂については、今年も少なくなっています。</p> <p>昨年度の 4 月、5 月、6 月と比べて見ますと、ホチキス止め資料の平成 29 年度図書室利用状況をご覧ください。</p> <p>こちらは 4 月、5 月、6 月、7 月、9 月までの、平成 28 年度との比較の表になります。</p> <p>羽茂図書室については、来館者は減ってきていますし、貸し出しは 4 月の時点で、平成 28 年度より上回ったものの、5 月、6 月、7 月、8 月、9 月と減っています。</p> <p>貸し出し人数も同じく、予約の件数についても 4 月は多いが、他の月は下がっていますので、単純な前年度の比較ということではなく、ある程度スパンを置いて分析する必要があると思っています。</p> <p>ただ、平成 29 年度の話で恐縮ですが、平成 29 年度から図書室については</p>

	<p>土曜日・日曜日を開館して、水曜日・木曜日のどちらかを休館日としています。</p> <p>それに伴って開館の時間や、開館日の日数が変わってきているので、一概に言い切れないところもありますので、羽茂図書室に関しては、少し長めのスパンで見て分析を行いたいと思います。</p>
東委員	<p>参考になるか分かりませんが、羽茂の場合は学童クラブが今まで同じ建物内にあったのが、それが今年度からだと思うんですけど、隣の支所の3階かどこかに移ったんですね。</p> <p>だからそれが影響しているのではないかなという気はするんですが、本当のところは分かりませんが。</p>
木村委員	<p>せっかくの施設が2年続きで下がっているのなら、少し率直に羽茂の担当職員に、減っている原因を考えられることないかと次回までに聞いてみてください。</p>
伊藤主任	<p>分かりました。</p>
木村会長	<p>今後それこそ整備計画を立てるときに、大事な要素になると思いますので。</p>
伊藤主任	<p>分かりました。</p> <p>ありがとうございます。</p>
伊貝委員	<p>下の表のところDとFの前の前年度の数字分かりますか。</p>
伊藤主任	<p>わかります。</p> <p>ではDは、実利用人数 5,353 人です。</p> <p>Fは、実利用者1人当たりの貸し出し冊数 39 冊です。</p>
伊貝委員	<p>やはり、1人当たりの貸し出し理由が分かりませんが、増えてますね。</p>
伊藤主任	<p>ただこれを見ただけだと、年間のトータルなので、そのリピーターが増えているのか、それとも1人が借りるのが、例えば3冊借りてたのが6冊になったとか、そういう状況がこれを見ただけだと何とも言い切れないところがあります。</p>
伊貝委員	<p>借りるのが増えた理由が、何かあるはずだと思います。</p> <p>多分、実利用者の人数は年々少しずつ、若干落ちるのは仕方ないことだと思います。</p> <p>だけど、問題は1人当たりの貸し出し冊数が多い理由。</p> <p>要は利用が増えてるといえるのは、やはり何らかの新しいサービスを始めたのか、あるいは魅力的な図書の向上を図ったとか、何かどこかに理由があるのだと思います。</p>
木村会長	<p>図書館職員が集まる機会があるでしょうから、今の点について、それぞれの図書館や図書室で1人1人がいっぱい借りるようになっている実態などについて、いろいろな情報を集める努力をしていただきたい。</p>
伊藤主任	<p>分かりました。</p>
木村会長	<p>他の委員も意見や質問はありませんか。</p> <p>では、平成29年度について移ります。事務局説明をお願いします。</p>

伊藤主任

(2) 平成 29 年度佐渡市図書館・図書室事業計画及び実施状況について

①事業計画について説明

平成 29 年度の事業計画の説明を年度の初めに行って、平成 28 年度の実績を元に、皆様からご意見をいただきることができなかつたこと。

平成 29 年度の事業計画について、半ば実績報告という形にさせていただく。

・平成 29 年度の図書館の事業は、図書館資料の充実、調査相談業務について拡充する。

また、新潟県新潟大学附属図書館や、県内公共図書館との相互貸借や協力複写などの連携事業の拡大をすることを例年とおりに行っている。

協力複写、相互貸借との違いの説明。

・移動図書館車の運行内容の説明

運行時期を平成 28 年度から引き続き 4 つを全て 4 月～2 月に変更した。

こちらの方が評判が良かったので、平成 29 年度も引き続き同じように実施している。(両津の海府・前浜、相川の高千、西三川、松ヶ崎の方面)

・春・秋の読書週間の説明

春の子どもの読書週間について

別紙 第 59 回「こどもの読書週間」行事一覧の説明

秋の読書週間について説明

各図書館・図書室での展示、おはなし会の開催、中央図書館ではリサイクル市の実施(寄贈いただいたけれども図書館で受け入れをしない本や、保存期限の過ぎた雑誌を、市民の方々に還元)を行っている。

・子ども読書推進事業について

わくわくシールブック事業について説明

本を 2 冊借りるとシールを 1 枚、たくさんシールを集めると表彰、名前を翌月に張り出し、非常に好評を得ている。

・ブックスタート事業について説明

市の検診の 3・4 ヶ月の乳児検診のときに、図書館の職員も同行し、赤ちゃんとそのお母さんに絵本を一冊プレゼントする事業。

・「本と遊ぼう。全国訪問お話隊によるお話会」についての説明

5 月に開催。全国訪問お話隊とは何か、

講談社、出版社の講談社が主催している事業で、絵本をたくさん積んだキャラバンカーが、全国 47 都道府県を回っており、都道府県、全国いろんなところを巡回しており、おおよそ 2 年から 3 年に 1 回、新潟県の番が回ってくるというような状況。応募した結果、佐渡市に 5 月 13 日、14 日、小木、佐和田、両津の図書館でキャラバンカーの見学、お話会の開催となった。

・子ども読書レベルアップ研修会の説明

8 月から 9 月にかけて、あいぼーと佐渡などで開催した。

平成 28 年度から始まった県主催の事業で、平成 28 年度は年 2 回の開催だ

	<p>ったが、非常に佐渡市の参加者が、熱心である、またやってほしいという要望が強かったということから、平成 29 年度は 4 回開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形劇の公演について説明 <p>小木の公民館活動でパペットシアター・キッチンに依頼し、昨年度に引き続き今年度も中央図書館で人形劇の公演会を開催予定。</p> ・その他について説明 <p>子どもの読書に関することについての説明</p> <p>小学校・中学校・保育園との連携事業として、出張による読み聞かせ等の実施。</p> <p>中学校 2 年生の職場体験の受け入れや学校の総合学習の一環での図書館見学等の受け入れの実施。</p> ・管理・運営に関することについて <p>今年の 4 月から図書室の土曜日・日曜日を開館し、その代わり水曜日・木曜日のいずれかを休館するサービスの実施。</p> <p>職員の配置状況の説明</p> <p>それぞれフルタイムの臨時職員が 1 名ずつ付いて図書館事務にあたっていて、利用状況は増えてきている。</p> <p>平成 29 年度図書室利用状況比較調査の資料説明</p> <p>来館者が増えれば、貸し出しの冊数、人数、予約の件数も増加が増えてきている。</p> <p>職員を配置して、常に受け答えが出来る図書館に携わってくれる人がいるということで利用者が確実に増えていくというようなことを、職員も肌で感じている。</p> ・蔵書点検についての説明 <p>蔵書点検の作業内容、新穂、両津についての蔵書点検の実施しない方向</p> ・開館時間の延伸についての説明 <p>平成 26 年から真野図書館は平日について、午後 5 時から 6 時までの間 1 時間、開館時間の延伸</p> <p>非常に好調であることから、今年度も 1 時間延伸を継続したい。</p> ・平成 29 年度の一般会計の当初予算書の説明 <p>図書室の臨時職員の賃金、新穂図書室の備品購入費</p> <p>中央図書館トイレの配水管の工事</p> <p>真野図書館屋根の葺き替え改修工事</p> <p>中央図書館のエアコン購入費</p>
木村会長	事業計画と予算について、ご意見、ご指摘等ございますか。
伊貝委員	<p>図書予算はどうか。</p> <p>実感として、実際運用してみて足りないですか。</p> <p>それとも、ちょうどいい感じですか。</p>

伊藤主任	もう少しあるといいですね
伊貝委員	あると困るという場合もあるので。
伊藤主任	<p>今の人員体制であれば、この予算を使うのにちょうどいいところはありますが、図書室については、人も増えてきていますので、もう少しはあってもいいと思っています。</p> <p>特に新聞や雑誌は、図書室には殆んど入っていないので、そういった面ではあった方がいいと思います。</p> <p>図書館のサービスというような意味合いで、そう思いますし、今の人員であればその予算もうまく使えると思います。</p>
伊貝委員	<p>関係あるのは人員だけですか。</p> <p>例えば本を表に出す、あるいは裏の方にしまう、そういった場所的な問題はいかがですか。</p>
伊藤主任	場所的な問題は、予算も何も関係なく、すでにパンク状態です。
伊貝委員	そうすると、図書予算で毎年 800 万円図書購入する訳ですが、問題は、増えていく本の処理に困るのではないかと。
伊藤主任	<p>委員が仰ったとおり、本って賞味期限とかもあるんです。</p> <p>法律関係、税関係は毎年毎年変わっていきますし、そういう古いものをとっておくというのは、もちろん意味のあることではありますが、ずっと全部を揃えていかななくてもいいとは思っています。</p> <p>どうしても古いものに対してのニーズは、新しいものに比べたら当然低くなるわけだから、全部が全部とっておく必要はないと思っています。</p>
伊貝委員	今のところ、ストックに困ってるってことはないですか。
伊藤主任	ストックする場所に困っています。
伊貝委員	困っていますか。
伊藤主任	<p>困っています。</p> <p>こちらの表ではしっかり出ていませんが、受け入れする冊数と、特に中央図書館はその本の置き場所に困っているので、受け入れする冊数とほぼ同じ冊数の本を廃棄しています。</p> <p>廃棄しないと置く場所はないですし、やはり図書館として保存しておかなければならないものは、保存しています。</p> <p>また、本ばかりではなく、新聞についても、きちんと保存しています。</p> <p>いつでも、利用者にサービスを提供出来るように保存していますが、やはり場所をとります。</p> <p>また、簡単に捨てれるものじゃないので、置き場所や保存作業に困っています。</p>
伊貝委員	新聞は、今までのものは保存しているのですか。
伊藤主任	<p>全てではありませんが、新潟日報については昭和 30 年から全て原紙で保管してあります。</p> <p>また、朝日新聞については昭和 53 年から縮刷版で保存しています。</p>

	<p>他の新聞については、本当に申し訳ないですが、スペースの関係やニーズの状況に照らし合わせて保存はしていませんが、3年で廃棄しています。</p> <p>ただ、「その新聞のこの記事が読みたい」というような要望があった場合は、新潟県立図書館にも保存していることから、先ほど少しお話しましたが協力複写というような形で提供しています。</p> <p>佐渡で保存するのは1番ニーズの高い「新潟日報」と、次に全体的な流れ、全国紙である、「朝日新聞（縮刷版）」を置いて、提供している状況です。</p>
伊貝委員	縮刷版は、今に至るまで保存されているのですか。
伊藤委員	<p>昭和53年から現在までです。</p> <p>ただ縮刷版は、1ヶ月か2ヶ月遅れで発行されます。</p> <p>表紙に目次が付いているので、その記事から調べられたりもすることもあり、縮刷版は原紙にない使いやすいポイントとがたくさんあります。</p>
東委員	資料のことで、小木図書館が小木図書室になっているので、訂正願います。
伊藤主任	<p>ありがとうございます。訂正いたします。</p> <p>小木図書室とありますが、正しくは小木図書館ですので、申し訳ございませんが訂正お願いします。</p>
木村会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今年度もかなりの部分で事業は進んでおりますので、このあと取組の充実をよろしくお願いいたします。</p> <p>それではここで一旦、もう計画とか実施状況とか終えて「(3)平成28年度佐渡市子ども読書活動計画の評価について」に移ります。</p> <p>新しく委員になられた方もいますので、どのような経緯で策定されたのか説明いただき、その後評価について説明願います。</p>
伊藤主任	<p>「第二次子ども読書推進計画」の資料をご覧ください。</p> <p>まず佐渡市では、平成20年に「第一次子ども読書推進計画」を策定し、取り組んで取り組んでまいりました。</p> <p>ただ、第一次計画は、取り組み内容が非常に多岐に及んでいて、なかなか実施が難しいということもあり、内容見直し課題を整理しながら、第二次計画を平成28年度から5ヵ年、このような計画で動いています。</p> <p>そして二次計画で見直した点については、こちら9ページにある数値目標があります。</p> <p>家庭や地域、保育園、幼稚園、学校あるいは図書館における子ども読書活動推進のために数値目標を定め、毎年評価を行なっていきたいと考えています。</p> <p>そして平成32年度末までの目標も設定し、それに向けて子ども読書活動推進に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>そして子ども読書推進活動については、策定趣旨等々はここの計画あるとおりですが、もともと国の「子ども読書活動推進に関する法律」に基づいて作られてる計画です。</p>

	<p>平成 28 年度の子ども読書活動推進計画の評価についてですが、先ほどの数値目標に基づいて平成 28 年度の取り組みの結果がこちらとなっています。</p> <p>表のうち、平成 28 年度末が、今回報告させていただいた内容です。</p> <p>こちらの数字等々については、この表をご覧くださいだと思います。</p> <p>おおむね目標を達成していますが、現場の学校の先生方のご意見ですとか、子どもの読書のボランティアということで関わっていらっしゃる委員の方も大勢いらっしゃるの、ご意見等お聞かせいただきたいと思います。</p>
木村会長	<p>まず、「第二次佐渡市子ども読書活動推進計画」このプランそのものは2年かけて協議会のメンバーで話し合い、それを最終的に、教育委員会の方でご検討いただいて、そして実施しています。</p> <p>これについて、パッと見ただけで分かりにくいような部分やこの点について少し説明してもらえないかというのがありましたらお願いします。</p> <p>今年度新しくなられた委員の方もいますので、私から評価についてお聞きします。</p> <p>別紙に評価の実態が出ていますが、私がパッと見ただけでも2項目除けば、目標達成したということですか。</p>
伊藤主任	<p>そうですね。</p>
木村会長	<p>そうしたらこれは、非常に図書館・図書室それぞれが努力された結果だと十分分かるのですが、評価としての観点では疑問を抱かないかと思われます。</p> <p>そのあたりを含めて、ざっくりばらんに、特に学校現場の方々は毎年評価というのをいろんな面で行なわれていると思うので、ご意見等よろしくお聞きします。</p>
渡部委員	<p>(3) 子ども読書活動推進の2の中学校の読書旬間が78%ということですが、13校あるうちの78%だと、だいたい10校か11校は実施しているということだと思います。</p> <p>内容が問題で、要するに旬間ということで設定しているということであれば、すぐに100%にできますが、「読書ノート」つけてみましょう、とか「読書記録掲示」してみましょうとか、取り組みの内容の面で、もう少し充実をさせていくというのもいいのではないかと、特に中学校に関しては思いました。</p>
木村会長	<p>先ほどの自己紹介の中で学校でのボランティア等に携わっている方がおいでになられていますので、お聞きしたいのですが。</p> <p>例えば(2)の保育園・幼稚園における読書活動推進、小学校における読書活動でボランティアの実施については、どちらも100%になっています。</p> <p>その協力で行かれる学校に限ってで結構ですが、実際に行っていることで、例えば子どもの反応や職員との関わりとかを、お聞かせ願います。</p> <p>数値が良いのは分かっていますが、中味や質の面を知りたいので。</p>
安藤委員	<p>私は月に2回真野小学校で放課後の読み聞かせのボランティアをしています。</p>

	<p>ふれあい広場というのが児童玄関のところにあり、帰りのバスを待つとか帰りまでの間、聞きたい子が聞くといい、勉強したい子は勉強するというだいいぶ自由な形の読み聞かせに参加しています。</p> <p>私は仕事の都合で出来ていませんが。</p>
安藤委員	<p>朝の読み聞かせは、月に1回の実施ですか。</p> <p>ずっと変わっていませんか。</p>
永井委員	<p>今どうでしょう。</p> <p>私がいたときには、月1でした。</p>
安藤委員	<p>金曜日に朝読み聞かせている形で、例えば1学年の月、2学年の月という感じで他の方が、各クラスに読み聞かせに入るような形で活動を行なっています。</p>
木村会長	<p>子どもの反応はいかがですか</p>
安藤委員	<p>私、クラスの中は分からないのです。</p> <p>面白い話だと何かしながら、話を聞いていたりとか、遊びの方に行きたくなると、大きく数が減ったり、紙芝居なんかも、めくりたいとか、あとは近くで見たくて下にこうなって、かなり自由に楽しく。</p> <p>大体低学年のお子さんが主になっています。</p>
木村会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>近藤委員は二宮小学校とおっしゃられてたが、校長さんに遠慮しないで結構です。</p>
近藤委員	<p>そうですね、3～4年でしょうか、毎年毎年子どもさん達の集中力は出てきてるとい気はします。</p> <p>待っててくれるんです。</p> <p>当初はそうでもなかったのですが、何か来てるなという感じだったのですが、別のことをしてるお子さんもいたのですが、習慣で朝の時間をいただいておりますので、子どもさんたちが待ってて下さって、「あ～来た来た」ということで先生方がいらっしゃらなくても、座って待っててくれるのです。</p> <p>聞く力も付いてきたと思っています。</p> <p>私は、以前に文化祭の一環として行事に参加してたこともありますし、昼休みにも読むことがあったのですが、ちょっとお昼休みですと集中が欠けてしまうと思います。</p> <p>出たり入ったりするお子さんもいらっしゃいますし、朝の時間をいただけてるといのはありがたいです。</p>
木村会長	<p>永井委員は赤泊で。</p>
永井委員	<p>はい、赤泊小学校に行っています。</p> <p>お昼休みの時間をもらっていて、高学年は目いっぱい遊びたいようですが、読み聞かせの日は月1回でお掃除の時間をカットして、読み聞かせにあてていただいています。</p> <p>子どもたちが遊んできたあと、読み聞かせ15分をして、終わってから、5</p>

	<p>時間目の授業に入るという形です。</p> <p>高学年もよく聞いてくれますし、楽しみにしているようで嬉しいです。</p>
木村会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>保育園とか幼稚園の実態について、少しお話し聞いているような方はいらっしゃいますか。</p> <p>伊藤さんのもとにはデータだけじゃなくて、感想とか書いてくださったようなところありましたか。</p>
伊藤主任	<p>残念ながら数字的なことしか分かりませんが、中央図書館に大型絵本というのがあります。</p> <p>読み聞かせするために大きくなったような本ですが、非常に保育園で利用していただいている先生方が増えてきたと考えてます。</p> <p>行事やお誕生日会などに使用したいということで、活用する先生方が増えてきたと感じています。</p>
木村会長	<p>さて、今のような実態を踏まえてデータとして達成してしまった場合、どうしたらいいのでしょうか。</p>
永井委員	<p>達成率、読み聞かせの実施なんですけど、これはどういうふうにカウントしているのですか。</p> <p>年に1回でも読み聞かせをすればOKですか。</p>
伊藤主任	<p>そうなんです。</p>
永井委員	<p>学校や場所によって、ボランティアが入っても入らなくても、いいんですよね。</p>
伊藤主任	<p>先生が取り組んでいてもOKですし、ボランティアの人だけが取り組んでいてもOKです。</p>
永井委員	<p>そうすると非常に楽。</p> <p>楽といったら変ですけど、年に1回でOKなら、読書週間とか読み聞かせとか、中学校の読み聞かせはどうか把握出来ませんが、結構入っているのも難しい達成率ではないと思います。</p> <p>このまま続けていけば、今年度も来年度も100%になると思うのですが。</p> <p>そうなった時のレベルアップや評価項目のアップのようなことが必要なのではないか。</p> <p>それともこれはこれで、1回でも実施したら達成としていくのか、少しずつでも内容だったり質であったり回数だったりを増やして行くのか、どのように考えていったらいいのでしょうか。</p>
伊藤主任	<p>そうですね、第二次の計画で動いているので、今数値目標を変えるということにはできないと思います。</p> <p>比較が出来なくなってしまうので、数値目標を変える、指標を変えるというのはいいとは思いませんが、こちらの計画は5年間で平成32年度までなんです。</p> <p>平成33年度以降から、おそらく第三次計画というものに移っていくかと思</p>

	<p>うので、二次では、体制できて簡単な目標だったんだから、三次ではもう少しランクアップしたようなものに設定しようという形で、是非皆さんご意見をいただければと思っています。</p> <p>あっさり達成してしまうと、ちょっとやっぱり指標として、適切かどうかというところもありますので、やるのであれば、きちんとそれを行なうことで、どの子ども読書が好きになってくれるとか、一段深い学習ができるとか、そういうような目標設定をすることが適切だと思いますので、是非ご意見を先生方からもいただければと思います。</p>
木村会長	<p>昔を思い出すと、読み聞かせを5回やったらA、3回以上だったらBとか、実施も分かるし、レベルも分かるし、回数も上がってきたと、ちょっと条件をつけることをやったことがありますよね。</p>
渡部委員	<p>学校ですと、単純に考えますと回数と冊数だと思います。</p> <p>1人あたりの月間ないし年間読書冊数、目標何冊と決めておいて達成したかどうかとか、ある程度取り組みを考える必要があるのではないかと思います。</p> <p>中学校であれば読書旬間ですけれども、実施した内容について、例えば「ビブリオバトル」や「読み聞かせ」、「読書ノート作り」、「本の紹介カードの作成」など出しておいて実施したものに丸つけてもらうようにして、内容をもう少し詳しくするとか。</p> <p>小学校であれば、ボランティアの人に読み聞かせしてもらったものを、例えば異学年で読み聞かせを行うまで発展させたかとか、そういうふうな内容面をもう少し書き込むなどしてアンケートを取ると、この内容がはっきりしてくると思います。</p>
深澤委員	<p>小学校ですと、近藤委員には毎月1回来ていただいていますし、月1回はやっています。</p> <p>司書さんが今年から増えたので、週2回入っていただいて、そのうちの1回は昼休みに読み聞かせをやっていただいています。</p> <p>読書旬間が年2回ありますので、職員が必ず読むことにしています。</p> <p>それだけでも回数的に言うと、月1回じゃなく、月2回3回。</p> <p>それくらいが普通なのかなという気はします。</p> <p>ボランティアが入らない学校もあるかもしれませんが、それでも職員がやっているとしますので、平成33年度以降、回数を厳しくしてもいいのかなと。</p> <p>厳しいという言い方はおかしいかもしれませんが、増やしてもいいのかなと思います。</p> <p>あくまでも目標であるならば、少しアップした方がいいと思います。</p>
伊藤主任	<p>ありがとうございます。</p>
木村会長	<p>時間が限られていて、4時ということなので、子ども読書活動推進計画は終わらせていただきます。</p>

	<p>大きな課題として項目の分け方、数値目標ですね、このところが今後平成32年まであるわけですので、途中で変えるというのも一つの手ですので、これから行なわれる協議会で、時間がありましたら検討をいただくとありがたいと思います。</p> <p>それでは次に、(4) 佐渡市図書館運営方針及び佐渡市図書館整備計画についてお願いいたします。</p>
濱崎館長	<p>(4) 佐渡市図書館運営方針及び佐渡市図書館整備計画について説明</p> <p>・概要説明</p> <p>図書館整備計画の関係については、平成21年度から佐渡市図書館協議会において方針を定めてきており、「佐渡市図書館整備方針」を平成26年1月に策定しているところです。</p> <p>この内容につきましては、平成31年4月1日までの整備方針を策定するというで定めたものです。</p> <p>それ以降の方針が無いということになりますので、この方針に先進んだ整備計画を策定するということになります。</p> <p>整備方針後、平成26年度の図書館協議会で計画を策定することになっていましたが、庁舎整備の関係または耐震関係、合併特例債等の絡みでどうしても庁舎等の整備が必要になっていたこともあり、一旦この図書館整備計画については保留という形になっていました。</p> <p>その後平成29年の3月に議会の一般質問で、前児玉教育長が平成31年度までにグランドデザインを策定するというを説明しましたので、今ほど整備方針では平成31年度からという形になってはいますが、平成32年度からの整備計画を考えています。</p> <p>そのことから、今回アンケート調査を行い整備計画を策定するという方向ですが、整備計画の策定前に運営方針や基本計画というものが無い状態で、事業を行っているのはどうかということもあり、平成31年度からの運営方針ということで考えているところです。</p> <p>・スケジュールについて説明</p> <p>これは案なので皆様方の意見をいただきたい。</p> <p>【資料説明】</p> <p>これはおおまかな考えでありますので、変更大いに結構です。</p> <p>アンケートも説明した方がいいですか。</p>
木村会長	<p>そこまでは行かないでください。</p> <p>これに伴って庁舎の方のいろいろな施設、図書館・図書室に関係するようなところで工事が行われています。</p> <p>そういうところについて説明をお願いします。</p>
越前課長	<p>統廃合のことにつきまして図書館に関係するところありますので、説明させていただきます。</p>

	<p>佐渡市では最上位計画であります、佐渡市将来ビジョンの庁舎整備等基本構想におきまして、支所、行政サービスセンターの建替え等に取り組んでいます。</p> <p>また機能の重複する施設につきましては、公共施設の見直し手順によりまして、統廃合が可能か検討しているところです。</p> <p>社会教育施設統廃合の工程表の資料をご覧ください。</p> <p>社会教育課では、施設統廃合ということで、もうすでに羽茂の体育館は平成27年度に解体しています。</p> <p>それから佐和田の体育館につきましては、今年度解体ということで、年次計画において随時行っているところです。</p> <p>資料に書いてある、両津・真野・新穂・小木それぞれの地区におきましては、これから解体するというものについて掲載しています。</p> <p>図書館に関係する部分については、1番上の両津支所、公民館、図書館が新しく今建設している両津支所が複合施設でございます。</p> <p>こちらの方に9月となっておりますが、6月から工事が始まっておりまして、この工事が終わるのが平成30年11月末を予定をしています。</p> <p>その後、内部の配線や引越しなどを1ヶ月間行いまして、平成31年1月から複合施設としてオープン予定でいます。</p> <p>両津図書館については、両津地区公民館内に設置されていますが、帯グラフの下のところにある両津地区公民館は、両津の複合施設が完成したのちに解体をするという予定でいました。</p> <p>ところが工期が11月末と2ヶ月位延びたことや、両津地区公民館のアスベスト調査をしたところ、外壁にアスベストが含まれているということが分かったこともあり、この建物が出来る前に両津地区公民館を解体しなければならないということになりました。</p> <p>両津地区公民館につきましては、来年2月末までの利用ということで、その後解体とありますが、2月の中旬に工事の契約を結び、実際工事をするのは3月頃からとなり、平成31年3月末ということでかなり長い期間の解体工事となります。</p> <p>そのことにより、仮移転が必要となり、両津地区公民館の中には両津図書館が入っておりますので、図書館につきましては両津総合体育館に来年の3月から、約10ヶ月間、来年の12月末まで仮の図書館として、今のところ図書館の場所は両津総合体育館の1階を予定しています。</p> <p>複合施設が完成するまでの間、仮移転と考えています。</p>
越前課長	<p>新穂図書室につきましては、新穂の行政サービスセンターと新穂地区公民館・図書室ということで、これも複合施設を建築中でございます。</p> <p>完成については、来年の5月のゴールデンウィーク明けと聞いておりますので、それまでに引越しを行ない新穂図書室がオープンできるよう取り組んでいきます。</p>

	<p>また、平成 29 年度予算で新穂図書室にかかる備品等を購入することになっていきますので、今後購入を考えているところです。</p>
木村会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>このことを踏まえて佐渡市の図書館・図書室をどうするかというアンケートをまず実施して、そこから話し合っていくという、そういう流れになるかと思っておりますので、そこがここのスケジュールとの兼ね合いになっていくと思っております。</p> <p>今までのところまでは、短い時間で職員の方から説明がありましたが、少し私も状況がつかめない部分もありますが、まず2つのことをこの協議会で行わなければならないと思っています。</p> <p>前提としては、今いくつかの資料が出されていますので、その辺をご覧くださいと思います。</p> <p>また、すでに動きがある両津・新穂のように新しいもの変わっていくという、そのあたりの部分で意見等ありましたらお願いします。</p> <p>先ほど館長さんからもありましたように、「これじゃ無理じゃないか」とか、「もっと早めにやらないとダメじゃないか」とか、その辺も含めてお願いします。</p>
伊貝委員	<p>説明会の時に話したことを同じことを繰り返し話します。</p> <p>両津の整備の関係で一時的に図書の関係は総体に入る、公民館は勤労青少年ホームに入るということに、利用者から多くの意見が出ていましたが、平成 30 年度中に、その解体を終えるがために、一時的に総体と勤労青少年ホームに一時的に入るということについては、私は再考したほうがいだろうと考えます。</p> <p>説明会でも申し上げましたので分かっていると思っておりますので、それだけにしておきます。</p>
木村会長	<p>利用者の影響が大きいという事ですか。</p>
伊貝委員	<p>そういうことです。</p>
木村会長	<p>整備計画についてですが、当時2年間、平成 25 年の 4 月、当時の渡邊館長さんから諮問を受けて、協議会で話し合いを行い、しかもまた教育委員会の方はいろいろな形で市民からの意見を聞く機会もあったりして、そうやりながら最終的に、この案で教育委員会で決定された経過がありますので、あとでまたじっくりご覧いただきたいと思っております。</p> <p>いずれにせよ、運営方針は先ほど話されたように必要なものですが、10 の市町村の統合とかで、それぞれの地域の良さを生かしながら、中央図書館の指導とか支援のもとに頑張って運営しているわけですけど、統一した方針が佐渡市には無かったんです。</p> <p>それを今回はきちっとやっていかなければならないのではないかとということで、整備計画を立てると並行して運営方針を行うということになっていきます。</p>

	<p>そのあたりを踏まえて、その前提となる住民の意見を実際に調べる、意見を求めるということでアンケートを実施するという考えです。</p> <p>ですから、アンケートをどういうものと考えているのか、これから説明していただきたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>時間も限られてますのでお願いします。</p>
濱崎館長	<p>時間が無いのですが、こちらのアンケート2種類の説明を行います。</p> <p>ホチキス止めのアンケートについては、これは住民の方無差別に2,000人に対して配布する予定のものであります。</p> <p>ピンクのアンケートについては、図書館・図書室の窓口において利用者の方から記入してもらう内容であります。</p> <p>このアンケートには、(案)とか書いていませんが、たたき台ということにさせていただき、皆さまから意見を述べていただき、たたき台程度にしていきたいと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホチキス止めの方のアンケートの内容説明。 問1から問20の説明 ・続いて窓口に置く利用者のアンケートの内容説明。 問1から問10の説明 <p>説明を終わらせていただきます。</p>
木村会長	<p>それでは、利用に関するアンケート2,000人を対象と、それから利用者アンケートということで、来館者に協力、依頼する内容の、2つのアンケートを実施することについて、方向性としてはいいのでしょうか。</p>
伊貝委員	<p>すみません。</p> <p>非常に危険なおいがしますが。</p> <p>アンケートについて、軽く考えているかも知れませんが、少し大きな問題に発展するかも知れない可能性が、ものすごく私的にはあります。</p> <p>まず、少し気になる言葉遣いだけを言うと、無差別という言い方ですが、無作為ではないですか。</p>
濱崎館長	<p>無作為ですね。</p>
伊貝委員	<p>無差別アンケートですか。</p>
濱崎館長	<p>無作為抽出アンケートです。</p>
伊貝委員	<p>無作為抽出、例えば対象18歳以上あるいは、何歳以上の市内に在住する2,000人という表記の仕方にするでしょ。</p>
濱崎館長	<p>そうですね</p>
伊貝委員	<p>アンケートの取り方にも、地区毎や人数を変えながらとか、人口割りで行くとか、いろんな方法があります。</p> <p>また、庁舎の関係についても何回もアンケートのことについて持ち出されましたが、全部想定して動いていたので全部回答できました。</p>

	<p>例えば、2,000人で回収率が半分の1,000人の場合「1,000人の意見で、このような方針を出していいのか。」ということになりますよね。</p> <p>非常に危険なんです。</p> <p>このアンケートは、運営方針と整備方針、整備計画を決めるためのものと、一言も記載されていない。前書きでどこにも記載がない。</p> <p>図書館サービスの向上のために聞くんだという事しか書いてない。</p> <p>だけど、後でアンケートを取ったら、「これこれこうだったから運営方針はこのように決めました。」「整備計画はこのように決めました。」ということになりますよね。</p> <p>それで、「それについては図書館協議会に諮りました」ということになると思いますが、これ非常に危険だと思います。</p> <p>運営方針だけならまだ良いのかも知れませんが、整備計画まで入ってくると、ソフト面だけじゃなくハード面まで入ると、専門の意見を聞く場が必要かと思えます。</p> <p>もちろんそれ独自のアンケートを取っても良いと思いますが。</p> <p>それを今、さらりとした感じのアンケートになってしまって、後半の方に少しあるこれが実は整備計画と関係のある内容ですが、これだけで整備計画作って考えましたってと言って通るかというのと、今の議会に対してはそう簡単でないと思います。</p> <p>ですから、ここで「はい、これでいきましょう。」とは簡単には私は言い切れないです。</p> <p>もっと戦略めいた方がいいと思います。</p> <p>運営方針はいい、ソフト面はいいけれど、ハード面についても作ると答弁しましたか教育長。</p>
渡邊教育長	わたしではなく、前任者です。
濱崎館長	<p>答弁では、グランドデザインという言い方をしています。</p> <p>グランドデザインといいながら、図書館・図書室については場所も含めて検討していくというような答弁で言ってます。</p>
伊貝委員	図書館の関係については、もう既に庁舎も同じだけど、もうほぼ動いてきているのが実態じゃないですか。
濱崎館長	はい。
伊貝委員	<p>中央図書館についても、充実すると言って、私は合併特例債期間内に新しい中央図書館も、バーンとしたものを建てて欲しかったけれど、それについても今じゃ無理じゃないですか。</p> <p>そうするとあと考えられるのは、少しその辺りを買って拡大できないかとか、そんなことしか考えられないです。</p> <p>それとも、「どこか移転して考えますか」って言うことにはならないんでしょう。</p> <p>例えば、隣接の田んぼを買わせてもらって駐車場にするとか、倉庫を作る</p>

	<p>とか、そういうことしか出来ないのではないかと思います。</p> <p>既に新穂図書室、両津図書館は決まっている、あとは中の問題。</p> <p>佐和田図書館は分かりませんが、みんな個々に動いてきていて、改めて整備計画というものが本当に必要なのかと根本的な疑問が浮かんできます。</p> <p>運営方針はいいんです。</p>
木村会長	失礼な言い方で申し訳ないのですが、教育長さん、先ほど議会で平成 29 年のいつと言いましたか。
濱崎館長	平成 29 年の 3 月です。
木村会長	それで前教育長さんから引き継ぎ等はありませんでしたでしょうか。
渡邊教育長	ないです。
木村会長	<p>そうですか。</p> <p>そうなるかと頼りになるのは議会の答弁。</p>
渡邊教育長	<p>私はグランドデザインという事で理解しておりますので、今おっしゃったところでは、今のような合併特例債が終わって、現状から考えてみたらどうか。</p> <p>それとも、実際にもう何も無い、ここからどうしたらいいという議論も一つだと思います。</p> <p>今の考えの中で新しいものは出来ないだろうという想定のもとに、アンケートを取るんだというのもひとつかなと思います。</p>
伊貝委員	事実上もう出来ないんですよ。
渡邊教育長	<p>それを含めて、この全体の中で新しいもの、大きいものやっぱり欲しいよと、大きな方針であれば、そういうものを提案していくというのも今後必要だと思います。</p> <p>でも今現状このくらいだから、利用者このくらいだから我慢しようよ、という言い方も一つあるのかなと思います。</p> <p>本当にまだ何もしていない状況という事です。</p>
木村会長	<p>先ほど館長さんがおっしゃられた、グランドデザインという言葉が引っかかります。</p> <p>学校に勤めたときは「グランドデザイン作りなさい」ということであくまで単年度で作っていましたが、長期的に使う 5 年先 10 年先を想定して、グランドデザイン作った経験が無いので、あくまでもその年に重点的に何があるかということを、わかりやすくまとめていったものが、グランドデザインという考えで私自身はいますので、どうも説明聞いていると納得できませんが。</p> <p>学校代表の現役の委員はどうですか。</p>
深澤委員	<p>確かに学校は 1 年ごとです。</p> <p>毎年見直ししていくという事ですし、今年度何をするかというのが学校のグランドデザインです。</p> <p>地域、保護者にも分かってもらえるような形で出しています。</p>

渡部委員	大体単年度ですが、例えば3年から5年のサイクルで活動するときのグランドデザインの考え方も可能ではないかと思います。
木村会長	それが議会の答弁で、生きているわけですよ。 それに基づいて行政は動く。
渡邊教育長	平成28年度から平成32年度までの計画という、前回のことがあるわけですよ。 それに合わせて向こう5年間ということだと思いますが、名称がグランドデザインというのか、中期計画というのか、言い方はあると思いますが。
伊貝委員	あまり課題に引きずられなくてもいいと思います。 教育長も代わったし市長だって大きく転換してますし、今までのことと全く違うことをやり始めた。 3月議会の答弁に、渡邊教育長はいなかったわけですから、それはいいと思います。 無視するという意味ではないが、あまり引きずられなくてもいいのではないかと私は思います。
小松委員	別件でもいいですか。 グランドデザインではなく、アンケートのことで。
木村会長	大きい面で言えば、推進計画・整備計画という方面から意見をお願いします。
小松委員	先ほど住民2,000人という話が出たのですが、ここで移動図書館の方は考えていないのですね。 先ほど移動図書館の人たちに送ると完全にこのアンケートの数には、参考にならないのかなど。 その他で図書館は遠いから利用しないとなるので、その辺のアンケートの内容と配布する人達を考えていただきたいと思っています。
木村会長	先ほどおっしゃられたこの2,000人のアンケートは本当に難しいです。 まず、これがこういう方向で動くというのがわかると、平成25年から平成26年にかけて協議会のところに傍聴を希望して、本当に一生懸命どういうふうに進化していくか関心もたれるでしょうし、住民説明会に参加された方、あの時の雰囲気から考えると本当に切実な部分がでてきておりますよね、きっと。 それと慎重に、こういうやり方でいいのかという。
濱崎館長	まず、アンケートを実施するかしないかから始まるんですけど。
木村会長	そこから。
伊貝委員	アンケートをする必要性が何なのか、何のためにアンケートを取るのか。 そこには明快な理由が必要です。 運営方針をとにかく決めたいんだというなら、表に書いてしまって、今無いで今後サービス向上のために、佐渡市の運営方針というものを決めたい。 つきましては意見を聞かせてくださいと全地区に抽出で行くわけだから、

	<p>移動図書館やっている地区にもそれなりの説明もあつたりとか、いろいろなことを考えなければいけないと思います。</p>
越前課長	<p>平成 25 年度、図書館のいろいろな問題と申しますか、ありまして、その中で議論を深めまして、ここにも書いてございますが平成 31 年度までは 1 館 9 分館のまま行くということは決まっております。</p> <p>ではこの後どうするんですか。というところで図書館・図書室のサービス向上も含めて、先ほど言いましたグランドデザインということで、アンケート調査をとって、図書館の今後のあり方という部分を市民からご意見を聞くと、いうことでやりたいと思います。</p> <p>それから無作為抽出 2,000 人というのは、いろいろなアンケートを取っていますが、生涯学習推進計画やスポーツ推進計画の策定の際も、無作為抽出 2,000 人で実施していますので、同じように図書館協議会のアンケートについてもこの方法でやって行きたいと今のところ考えています。</p>
木村会長	<p>皆さんすみません。</p> <p>お約束の時間 4 時ということだったんですけど、もう少し煮詰めないと次回の協議会が決まらないので、伸ばしてもいいですか。</p> <p>じゃ、あまり伸びないように行きたいと思います。</p>
伊貝委員	<p>今、越前課長が言ったように実は将来ビジョンなんですよ。</p> <p>現最上位計画のビジョンは、平成 31 年でしょ。</p> <p>そうすると、また来年にも佐渡市将来ビジョンの見直しが迫られるはずですよ。</p> <p>平成 32 以降の、交付税一本算定前提にした今度は新しい将来ビジョンの見直しが必ずでてくるから、それを見据えたほうが良い。</p> <p>つまりこれ単独で動いても、お金は全然関係ないということなら、それはそれでいいかも知れないけれど、そういう考え方の問題じゃないし、やっぱり佐渡市の動く方向と合わせて、図書館行政の方も考えてやっていきたいというふうに、歩調をそちらに意識してやっていくやり方がいいと思います。</p> <p>経験上、あんまり急いで発車しない方がいいと思います。</p>
木村会長	<p>最初の方に戻りますが、この協議会というのは大きな前提では館長の諮問に応じて、審議するということです。</p> <p>そうすると今のご意見ですと、佐渡市の流れからいうと、今二つの諮問を受けたものが、少しスタートには早すぎるんじゃないかと、もう少しいろいろと詰めた方がいいのではないかという意見ですが。</p> <p>館長どうですか。</p>
濱崎館長	<p>議会答弁で平成 29 年度にアンケートの実施を行う話しをしているので、教育長が代わってから違う方向転換もいいのかも知れませんが、その辺りが気になります。</p>
伊貝委員	<p>単純な図書のサービス向上のためのアンケートだという軽い捉え方するならば別にいいです。</p>

濱崎館長	<p>そうでいくか、議会に関心あった人達は、整備計画的な形でアンケートを実施しているイメージでいると、ちょっと違うのではないかと思う方もいるのではないかと思います。</p>
伊貝委員	<p>整備計画云々に関わってくるということになると、これは一大問題に発展しかねない。</p>
木村会長	<p>少し違う意見もありましたら、疑問点等声を出してください。</p>
東委員	<p>いいですか。</p> <p>平成 32 年以降、佐渡市でどういう方向でいくか非常に不安なんです、平成 31 年度まで中央 1、あと 9 分館で行く方向で平成 32 年度以降も行ってほしいのが希望ですが、そういうところをここで話して、話してというか深めていいものでしょうか。</p>
伊貝委員	<p>ここで仮に意見を出しても、結局最終的には市長の判断で、図書についてはどうだ、こうだとなってしまうから、あるいは教育長さんが一定の見解とは行かないかも知れんけど、でもここでやっているのも相当空しいものがあります。</p>
東委員	<p>空しくても、やらないよりはやったほうが良いと思います。</p>
伊貝委員	<p>少なくとも、この場としてはこうしてもらいたい、こうしてほしいと言うのは。</p>
東委員	<p>要望ですよ。</p>
伊貝委員	<p>そうそう。我々は公的な諮問機関なんだから、図書館長に対して我々はこういうふうを考えました。</p> <p>とってぶつけなければいいけれど、館長さんそれ理解していかなきゃだよ。</p>
濱崎館長	<p>はい。そうですね。</p>
木村会長	<p>さて、このアンケートを踏み出すには、もっとしっかりとした準備と計画、先を見通したものがいるわけですがけれども、前教育長さんは議会に対してお話されたところと、グランドデザインという言葉。</p>
渡邊教育長	<p>前教育長の言葉ということであり、引き続きということ、全く変えるということの二者択一ではなくて、私はどっちにしても平成 31 年合併特例債が終わった後、どういう計画を立てるかにしても、やはりいろいろなアンケートなり協議会なりの意見を反映させていく必要があると思っています。</p> <p>完全にそうとは言えませんが、意見というのは半分半分なので何にしても。図書館を良くしたいに決まっていますから、財政上のものと考えていかなければならない。</p> <p>それが、必ずしも全て認められるわけではないので、ただこういう考え方があるというのは必要だと思います。</p> <p>そして今ご意見もらったものは、そのタイミングと、どういう計画にしていくかというのが、大事なところなのかなと思いますので、私としてはやはりアンケートは取りたいと思います。</p> <p>協議会の意見はまとめたというふうに思います。</p>

	<p>どういう内容でとるかというのを考えていただいて、タイミングをみながらというところもありましたので、いつアンケートをとるか、どのタイミングで出すかというのは、こちらも考えて行きたいと思います。</p> <p>そのように思っていますが、ただここで内容を検討していかないと、例えば「来年度何もしない、今年度何もしない」じゃ、来年度急にやりますかと言ったら出来ませんので、内容を吟味していただいて、これはやる、やらないとかという段取りも必要かと思えます。</p> <p>今日は素、原案ですので、内容をもう一度ご覧いただきたい。</p>
伊貝委員	<p>アンケートを取って、この設問で仮にアンケートを取ったとします。</p> <p>運営方針と整備計画に繋がりますというのであれば、アンケートの内容は設問の仕方も違って来る。</p> <p>影響があるんだから整備計画まで今のところ考えませんというのであれば、アンケートはそれなりの設問にしかならないし、アンケートの内容に影響があるんですよ。</p>
渡邊教育長	<p>運営と整備の両方だということですね。</p> <p>将来ビジョンに関してくるのもたぶんその部分だと思うんです。</p> <p>私が言いたいのは、急に出せと言われても出来ないのですから、そこは内容等検討して両方行けるように準備しておく必要があると思います。</p>
木村会長	<p>時間も押してきており、15分伸ばしているのですが、根本的なところの教育長の今のお話、伊貝委員のお話をもう少し皆さんで、話し合う場が必要だと思います。</p> <p>そこから始まって、もしこうだったらこうという形でアンケートが必要なんじゃないかとか、こういうことも必要なんじゃないかとか、それぞれが自由な立場で、当然ベースはこれですけど意見を少しずつ考えていただいて、次回集まって頂いてそれを中心に話し合うと。</p> <p>ここでは11月の中旬ということですけど、ちょっと中旬では学校は忙しい。二人が揃ってダメな日はありますか。皆さん方でもこの日はダメだという日ありますか。後で電話でも結構ですので、事務局の方にダメな日を連絡入れてもらえますか。</p> <p>できるだけ多くの方が集まれる日を設定して、2つのことに関してアンケートを実施するにはどうすればいいか話し合いたいと思います。</p> <p>予算もとってあるということで、3回やります今年は。よろしいでしょうか。ご都合の悪い日を</p>
濱崎館長	この辺の週なのかな。と思っております。どうでしょうか。
木村会長	中旬というよりも下旬。
濱崎館長	アンケートの実施に大きく響きますけれど
木村会長	そこは慎重にというんだから、慌てないでやりましょう。
濱崎館長	21日、22日、24日辺りでどうでしょうか。
渡部校長	22日相川中学校、人権教育の研究発表会があるもので。

渡邊教育長	<p>可能かどうかの表をお送りして、最大MAXのところでもやるのも。それでどうですか。</p> <p>11月の下旬ということで行くつか案をお出しして、その中でMAXのところを開くとということによいでしょうか。</p>
木村会長	<p>お願いですが、先ほどのアンケートに実施の際にいろいろと問題あったと聞きましたが、そのことについては私は分からないので、どういうアンケートでどういう問題点なのか、メモ書きで良いので残していただきたいです。</p> <p>また課長さんの方も各部・局で行ってるアンケートで、こういう点に注意する、こういう点が問題だったという実態も、詳しくなくても同じような立場の方や意見で過去にあった情報を仕入れておいてもらえますでしょうか。</p> <p>課長さんが忙しいようでしたら、メモで結構ですので皆さんに配れるように、していただくとありがたいです。</p> <p>あと次回のために、こんなこと考えた方がいいんじゃないかとか、お願いした方がいいんじゃないかとか、事務局にお願いした方がいいんじゃないかということがありましたらお願いします。</p>
伊貝委員	もう一つ、気になった言葉遣い。
伊貝委員	<p>図書館法では簡単に資料という言葉が使われます。</p> <p>その中には本も含まれておるんですけども、このアンケートの中で本と言ったり、資料と言ったり、ちょっとごっちゃになってる気がしますので、その辺り精査をお願いします。</p>
濱崎館長	ありがとうございます。
木村会長	<p>それでは時間20分過ぎてしまいましたので、議題の方これで終わりたいと思います。</p> <p>予定していた4つ終えて、中途半端に申し訳ないが、5番その他何かありますでしょうか。</p>
濱崎館長	特にありません
木村会長	委員の方、ここで情報提供とか、何かありましたらよろしくお願いします。ありませんかね。ではその後も事務局の方は。
濱崎館長	特にありません。
木村会長	それでは、これで議題・審議を終わります。
安藤副会長	<p>閉会あいさつ</p> <p>本日はお忙しい中ありがとうございました。今後もよろしくお願いします。</p>